

1992年度 一般會計

産業委所管 第3回 追加更正豫算案

檢 討 報 告 書

1992. 12

産 業 委 員 會
專 門 委 員

目 次

1. 局別 豫算規模	603
2. 一般會計 豫算の概要	604
○ 農漁村 開發局	
○ 農林 水産局	
○ 地域 經濟局	
3. 檢 討 意 見	606

1. 局別 豫算規模

(單位：百萬圓)

區 分	豫 算 額	既定 豫算額	增 減	備 考
計	61,707	62,244	△ 537	
農漁村開發局	24,005	24,014	△ 9	
農林 水産局	23,995	24,003	△ 8	
地域 經濟局	13,707	14,227	△ 520	

2. 一般會計 豫算의 概要

(單位 : 千圓)

局	細 項	事 項	追 更 豫 算 額	概 要
合 計			△ 537,371	
農漁村開發局			△ 9,445	
	· 農漁村 開發	其他經費	△ 9,445	· 自營 農科生 給食費 支援 轉出金 減 (×) 3,778 △ 9,445
農 林 水 產 局			△ 8,393	
	· 漁 政 管 理	主要事業費	△ 4,800	· 老朽漁船 代替 事業費 減 △ (×) 4,800
	· 造林沙防事業	主要事業費	△ 3,593	· 造林地 追肥 肥料購入 (×) 36 <既定 (×) 49,825> · 育林 裝備 購入 (既定 40,368) 600 · 造林事業費 減 (既定 685,739) △ (×) 4,229

(單位：千圓)

局	細 項	事 項	追 更 豫 算 額	概 要
地 域 經 濟 局			△ 519,533	
	・ 鑛山地域開發	主要事業費	△ 209,098	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鑛山 地域 公害防止 施設費 減 △(×) 64,571 <既定 (×) 1,239,650> ・ 鑛山地域 厚生 福祉 施設費 減 △(×) 144,527 <既定 (×) 144,527>
	・ 中小企業振興	主要事業費	△ 310,435	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農工團地 造成 事業費 減 (×) 180,000 (既定 1,756,500) △ 310,435
	・ 交通企劃管理	經常事業費	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 僻地 路線 缺損 補填 補償金 減 (科目 更正) <既定 250,000> △ 181,347 ・ 僻地 路線 缺損 補填金 積立金 (科目 更正) 181,347

3. 檢 討 意 見

< 農 漁 村 開 發 局 >

- 自營 農科生에 대한 給食費 支援 9百4拾4萬5千원은 (國費 3百7拾7萬8千원) 支援 對象者가 없음에 따른 國費 補助 및 道費 減額 措置임.

< 農 林 水 產 局 >

- 老朽漁船 代替 事業費 (國費4百8拾萬원)역시 國費 補助金 減額에 따른 措置이며,
- 造林地 追肥 肥料購入 (國費3萬6千원) 增額は 第2回 追更時 計數着誤에 따른 訂正 措置입니다.
- 育林裝備 (6拾萬원) 增額は 裝備 購入에 따른 手數料 未計上分이며,
- 造林事業費 (國費 4百2拾2萬9千원) 減額 역시 國費 補助 減額임.

< 地 域 經 濟 局 >

- 鑛山地域 公害防止施設 (國費 6千4百5拾7萬千원), 鑛山地域 厚生福祉施設 (國費 1億4千4百5拾2萬7千원), 農工團地 造成 事業費 <3億1千4拾3萬5千원 (國費 1億 8千萬원)> 各各 國費 補助 減額 및 이에 따른 道費 負擔金 減額 措置이며,
- 僻地路線 缺損 補填 補償金 1億8千1百3拾4萬7千원은 非 收益性 路線에 대한 補償金으로 支給키 위한 豫算이었으나 與件 變化에 따라 僻地路線 缺損 補填 積立金으로 科目 更正하는 것입니다.

-
- 以上 農漁村開發局 및 農林水產局, 地域經濟局의 第3回 追加更正豫算을 檢討한 바, 92年度末 計數調整 整理豫算으로 各 事業別 國庫補助의 確定(變更) 內示에 따른 豫算 措置이나,
 - 本 豫算編成時, 보다 慎重을 기하여 貴重한 財源이 헛되이 死藏되지 않도록 投資 效果性의 極大化를 期하고 補助金의 變更內示에 따른 措置에는 반드시 道費 自體 負擔金의 調整이 隨伴되어야 한다고 思料됩니다.